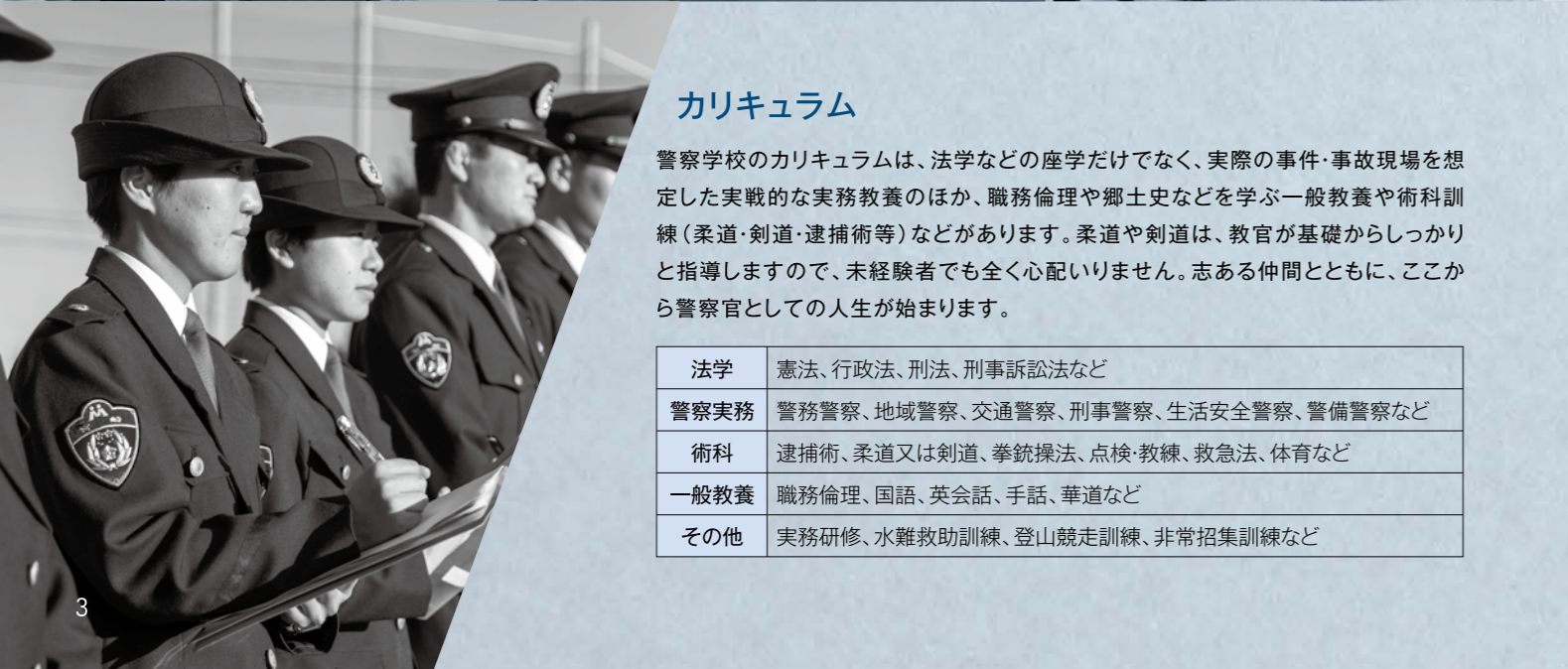


警察学校

ここから始まる、警察職員としての「第一歩」

警察職員として採用されたら、まず警察学校に入校します。全寮制の学校で志を共にする同期生と一緒に、職務に必要な知識や技能、体力を身につけます。警察学校で学んだこと、そして仲間との絆はこれからの警察人生の大きな力となります。



カリキュラム

警察学校のカリキュラムは、法学などの座学だけでなく、実際の事件・事故現場を想定した実践的な実務教養のほか、職務倫理や郷土史などを学ぶ一般教養や術科訓練（柔道・剣道・逮捕術等）などがあります。柔道や剣道は、教官が基礎からしっかりと指導しますので、未経験者でも全く心配いりません。志ある仲間とともに、ここから警察官としての人生が始まります。

法学	憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法など
警察実務	警務警察、地域警察、交通警察、刑事警察、生活安全警察、警備警察など
術科	逮捕術、柔道又は剣道、拳銃操法、点検・教練、救急法、体育など
一般教養	職務倫理、国語、英会話、手話、華道など
その他	実務研修、水難救助訓練、登山競走訓練、非常招集訓練など

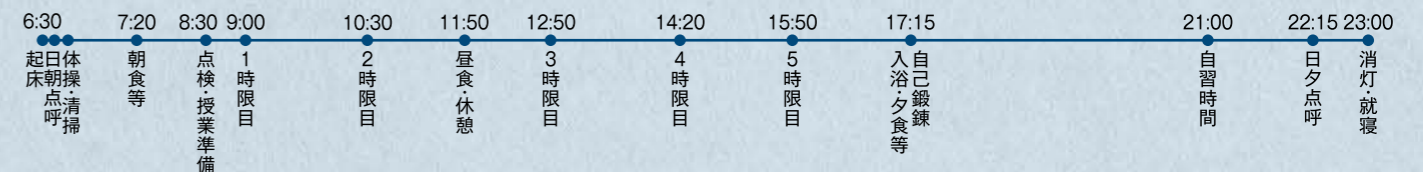


教育システム

採用されると、初任教育として警察官Aは6か月、警察官Bは10か月、警察行政職員は1か月の期間、警察学校に入校します。



初任科生の1日



朝	昼	夜
警察学校学生の朝は、6時30分の起床の放送で始まります。全員で点呼、体操そして清掃を終わらせた後は、食堂で栄養満点の朝食をとり、授業に備えます。	日中は、授業や訓練を通して警察業務に必要な知識や技能を身につけます。時に厳しい訓練もありますが、美味しい昼食を食べながら仲間と過ごすひとときで午後の授業に向けてパワーチャージ!	授業の後は、仲間とランニングをしたり、広いお風呂でゆっくり疲れを癒やしたりしながらそれぞれの時間を過ごします。その日の出来事などを話しながら仲間と寮で過ごす時間が1日の楽しみです。

MESSAGE

警察学校教官



授業や厳しい訓練についていけるのか、不安に思われる方も多くかもしれませんが、誰でも初めて経験することには不安がつきものです。私たち教官は、皆さんが一人前の警察職員として自信をもって踏み出していけるよう全力で基礎から指導しますし、授業や訓練を積み重ねることで、男女関係なく警察職員に必要な「気力・体力・知力」身につけることができます。警察学校での生活は、共に助け合い、お互いを高め合える同期生という強い味方も一緒にいますので、安心して警察学校の門をくぐってほしいと思います。

YouTube
配信中

警察学校について



警察学校 Q&A

- Q** 警察官になるために必要な資格やスキルはありますか？
A 特別な資格等は必要ありません（一部試験区分を除く）。ただし、採用された場合、入校までに普通自動車と普通自動二輪免許の取得をお願いしています。
- Q** 女性の方について教えてください。
A 女性職員には女性専用の寮があります。1人1部屋の完全個室で各部屋にはベッドや勉強机、収納なども備え付けられています。風呂やトイレは共用で、共同の洗濯機や冷蔵庫もあります。
- Q** 柔道も剣道も未経験ですが、授業についていけますか？
A 大丈夫です！柔道も剣道も未経験の方がほとんどなので、基礎からしっかり指導します。スタートはみんな一緒ですよ！
- Q** 外出や外泊はできますか？
A 学校生活に早く慣れてもらうため、入校後約1か月間は特別な場合を除き、外出も外泊もできません。それ以降の期間は、毎週水曜日の外出、週末の外泊が可能になります。